

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 松村 治寿

電話 052(661)1611 内線 2510

平成27年9月4日



水路記念日に伴う第四管区海上保安本部長表彰について

第四管区海上保安本部では、9月12日の水路記念日にあたり、長年にわたり海洋調査業務に従事し、海洋情報業務に多大な貢献をされた株式会社 ハンシン 吉村良三 氏に対し感謝状を授与いたします。

明治4年（1871年）9月12日に兵部省海軍部水路局が誕生し、我が国の海図作成が開始されてから144回目の水路記念日となります。

海上保安庁では、海洋情報業務に貢献していただいた個人または団体に対し、水路記念日にあわせ表彰しています。

本年度当管区内においては、40年の長きに亘り、名古屋港等の主要港湾における水深の測定など各種の海洋調査業務に従事し海洋情報業務の発展に貢献された吉村 氏に対し、第四管区海上保安本部長から感謝状を授与いたします。

記

○第四管区海上保安本部長からの感謝状贈呈式

日時 9月11日（金）午後5時30分～午後5時50分

場所 港湾合同庁舎別館8階会議室
名古屋市港区入船2-3-12

受賞者 株式会社ハンシン 技術本部長 兼 名古屋支店技術担当部長

よしむら りょうぞう
吉村 良三 様

功績 昭和51年から今日までの約40年の間、船舶の航行安全に不可欠な海図を作成するために、船舶が通航する航路や港湾の水深の測定などの業務に従事し、豊富な経験と技術により質の高い成果を上げるとともに、積極的な後継の若手技術者の指導育成にも努め、海洋情報業務の発展に多大な貢献をされました。

※ 贈呈式の取材を希望される社は、9月10日（木）午後3時まで、当本部までご連絡をお願いします。



【参考】水路記念日について

9月12日は、海上保安庁海洋情報部(旧水路部)創立の日です。

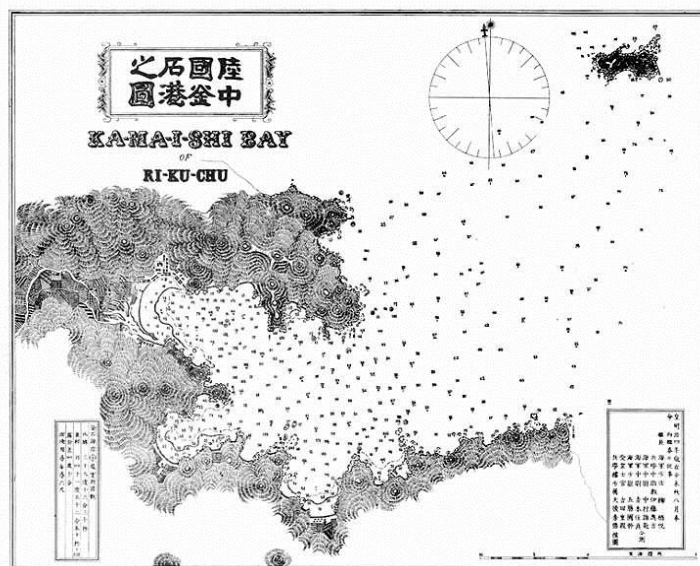
明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳楢悦(やなぎならよし)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。(左図)

伊勢湾に関するものとしては、「伊勢之国礪(さざら)港之図」(1865年(慶應元年)刊行、明治5年再版)があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳楢悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。



昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。



設立当時の水路局



現在の海上保安庁海洋情報部

水路局から海洋情報部への変遷

水路局は、兵部省に設置されて以来、所属省庁が移り変わって現在に至っています。移り変わりの中で、水路部の観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されました。

明治	4年（1871年）	9月12日	（旧暦 7月28日）	兵部省海軍部水路局
”	5年（1872年）	4月 5日	（旧暦 2月28日）	海軍省水路局
”	5年（1872年）	11月13日	（旧暦10月13日）	海軍省水路寮
”	9年（1876年）	9月 1日		海軍省水路局
”	19年（1886年）	1月29日		海軍水路部（海軍省外局となる）
”	21年（1888年）	6月27日		水路部（海軍の冠称廃止）
昭和	20年（1945年）	11月29日		水路部（運輸省外局となる）
”	23年（1948年）	5月 1日		海上保安庁水路局（海上保安庁設置 ・内部機関となる）
”	24年（1949年）	6月 1日		海上保安庁水路部
平成	14年（2002年）	4月 1日		海上保安庁海洋情報部（現在に至る）